

学習センターなくさんといて！

「市民の学びの場・出会いと交流の場・生きがいの場をなくさんといて！」「採算や効率だけで判断せんといて！」。橋下市長が進める「市政改革プラン」（七月末に決定）で廃止されることになった施設の一つ、弁天町市民学習センターの利用者らが声を上げています。

採算一色の「市政改革」

“学びの場” 存続願う利用者

◆94%の反対を無視

同プランの大半は「老人福祉センターを削減する」「老人憩いの家への運営助成を削減する」「ネットワーク推進員への補

助を廃止する」「食事サービス（ふれあい型）を削減する」「社会福祉協議会への交付金を削減する」——などあらゆる分野の施設やサービスを廃止・削減するもので、

当然ながら市民からは轟々たる反対の声が起こり、五月のパブリックコメント（市民からの意見公募）では九四割が反対意見でした。しかし同市長は「パブリック

コメントに政策が左右されたら大変なことになる」(六月二十二日)といった態度で強行姿勢を変えず、市議員多数の賛成もあって、プランは決定されてしまいました。

◆「コスト高」を理由に

決定されたプランのうち、弁天町市民学習センターについては「平成二十五年度までは現在の指定管理者制度のままでし、二十六年度に廃止する」とされています。因みに今回の決定では、市内の生涯学習センター・市民学習センター五館



→弁天町市民学習センターは様々な学びの場となってきた(上は茶道、下は朗読)

のうち弁天・難波・城北の三センターの「廃止」が決まっていますが、その理由は「賃借料など」コストが高いから」とされており、大阪市はこの三館の廃止によって「三億四百万円の削減効果」を見込んでいます。

◆増え続ける反対署名

こうした市の態度に対して、同センター利用者らは同プランの「素案」(五月に発表)段階から「素晴らしい施設をなくさん」として」と存続へ力を合わせてきま



→弁天町市民学習センターは様々な

発表の場ともなってきた(上はフ

ラダンス、下はコーラス)

した。パブリックコメントでは「市民学習センター廃止」に九八割が「反対」でしたが、「それだけでは弱い。人に任せず、自分たちでできることを」と同センター存続を求める署名を六月末〜七月十九日に二千筆以上集め、市長に提出。その後も活動は継続され、署名は三千を超えて増え続けています。

◆市の繁栄のためにも

八月二日には同センター利用グループによる月例の教室割り当て抽選会が行なわれ、七十一グループが参加。冒頭のあいさつで菱岡省二所長は「廃止が決まったとはいえ、あと一年半は続くので、引き続きこのセンターの充実・発展に努めたい」と現状報告をしました。

また存続署名活動を進める「大阪弁天町市民学習センターグループ連絡会」

の矢川富子代表(社交ダンス教室を主宰)は「廃止決定を受けて」市の考えと市民

の思いは違うことが分かりました。私たちは(個人的に)この場をなくしたくないと思っただけでなく、市の繁栄、地域の活性化のためにもこの施設を残したいと願っています。今後も市民の立場で、存続へ向けて、あきらめず、心を一つに頑張っていきましょう」と訴えました。

◆金に換算できぬ効果

古典芸能観劇サークルの代表として抽選会に来ていた川口清司^{きよし}さん(六九)は「(廃止決定は)文化を軽視しているとは思えません。市は家賃など経費面のリスクだけで判断しているのですが、



→「これまでと同様の利用を」と呼びかける菱岡所長^⑤と「存続へ力を合わせましょう」と訴える矢川さん^⑥

目に見えない効果、つまり学習の場や交流の場、生きがいづくりの場になっていること、また高齢者が活発に動くことで町の活性化や経済発展にも繋^{つな}がっていることを見るべきです。私たちの会では毎月十数人が集まって、観劇の感想など色々なことを語り合うことを通じて、視野が広がり、人の輪が広がっています。

(廃止は)こういう学びや交流の芽を摘^{つま}むことになります。これからも利用者の皆さんと気持ちを一つにして、お金に換算できない効果を市に分かってもらえるよう頑張っていきたい」と話していました。

◆生きがいの場にも

この他にも利用者からは「ここは利用料金が安いので会費を抑えられ、会員の方に長く続けて頂いています」年二回のセンターまつりは日頃の練習の成果を多くの方に披露する貴重な機会となり、会員の練習意欲を高めるのに役立っていま

す「歴代の所長さんや職員の方から運営への親切的なアドバイスや協力を頂いてきました」認知症の男性が社交ダンスをきっかけに性格が明るくなるなど、このセンターが生きがいづくりの場にもなっていることを実感してきました「こんな集まりやすく、設備も優^{すぐ}れ、利用率も七割を超えるのに、廃止は納得できません」

「営利目的の民間カルチャーセンターでは、個人的な学びはできても市民の交流や生きがいの場としては機能しないと思います」などの声を聴きました。

◆一体で作った市民財産

弁天町市民学習センターは平成五年に設立され、財団法人大阪市教育振興公社が大阪市から委託されて管理・運営を行なっていますが、これまで二十年近くに亘^{わた}って多くの学習グループや個人が利用し、生涯学習、自分づくり、生きがいづくり、人間関係づくり、心身の健康づく

りーなど様々な目的を実現する場として機能してきました。また各小学校区にある生涯学習ルームとは重なる部分を持ちながらも、メニューなどを補い合い、互いに刺激し合い、高め合いながら、全体として地域の生涯学習を充実させてきました。さらに同センターには港区や近隣区だけでなく、市外や府外からも集い、様々な地域の文化が交わり、刺激し合う場ともなつて、「大阪の文化の向上にも貢献」(菱岡所長) してきました。

さらに、「市民の皆さんの活動を支援したい」との情熱を持ち、利用者の声を聞いたり、教室運営へのアドバイスをしたり、いわば市民と一体でこのセンターを作り上げ、菱岡所長就任以来三年の間にも利用率を五割上げたという、職員の地道な努力も見逃すことはできません。

◆「カジノ誘致」等こそ中止を

こうしたいわば「市民が作り上げた市

民の財産」ともいえる場がなくなることは、地域の損失であり、むしろ市は充実・発展させる方向でこそ考え直すべきでしょう。「収支不足」や「コスト削減」を言うなら、「カジノ誘致」など市民には百害あつて一利なしのプラン、「梅田―関空間のリニア鉄道」など財界だけが喜ぶプラン、「道頓堀プール」など大阪の品格を貶める軽薄なプラン―等々をこそ中止すべきでしょう。

◆自らの問題として

その上で、特に私たち港区民にとつては、このセンターが自分たちの学びの場であると同時に、色々な地域の文化や活動を身近に見聞きできる場であり、そのことを通じて港区の市民性や文化水準を高める場にもなつてきたことに想いを寄せ、センターの存廃を自分たち自身の問題として捉えることが期待されます。

本紙コラム

あさやけ

「精力善用、自他共栄」とは講道館の創始者・嘉納治五郎氏の言葉です。「心身の全ての力を社会の為に用い、自分も他人も栄える世の中に」との思想は、柔道の心構えとしてだけでなく教育の精神として今も高く評価されています。そして氏は一九一二年、日本が初参加したストックホルム五輪の選手団長も務めました▼それから百年、ロンドン五輪の日本選手団長は奇しくも同じ講道館の現館長でした。が、選手村では冒頭の言葉を掲げつつもこう語ったそうです。「日本人の勤勉性を生かし、勝利に拘る」と▼五輪の喧騒が過ぎる度に「メダル至上主義」への反省がされながら、四年後にはまた「メダル狂奏曲」。その愚の反復を一步も出ない言葉に、「勤勉さを生かすならスポ

ーッを通じた世界平和にこそやおまへん
か」と思ったのは筆者だけでしょいか
きょう
今日、終戦記念日。五輪の熱気さめやら
ぬ中、「精力善用、自他共栄」を今こそ世
界に、日本に、せめて港区にと願います。

石綿禍の不安ある人は継続的に肺癌検診・結核健診を
11月29日(木)9:30~10:30 肺癌検診
港区保健福祉センターで
X線撮影無料・喀痰検査 400円<要予約・40歳以上>
9月3日(月)10:00~11:30 同センターで無料結核健診
詳しくは ☎ 6576-9882 港区保健福祉センターへ

シリーズ・私の提言

叫んでいいとも！

今月の提言者

ながさわ たみえ

長澤 民衣さん

(三里塚産直野菜の会)



放射能散らす瓦礫処理

協力は被災者受け入れでこそ

七月二十七日、大阪市会は「安全が確認されるまでは予算を執行しない」という付帯事項つきで、岩手の震災がれき処理予算を通しました。自民、共産、おおよそ未来の各会派からは反対意見が出ま

したが、公明党と維新が賛成だったため通ってしまいました。

◆何のための避難か

震災がれき受け入れについては「復興のさまたげになるから助けてあげないと」「困ったときはお互い様」という意見が多く聞かれますが、関西には小さいお子さんをつれて東京以北から避難されている方も多くいらつしやいます。大阪市でがれきが燃やされたら、なんのために避難してきたか分からなくなります。

◆燃やしてはいけない

震災がれきには有毒物質も含まれていますので、本来燃やしてはいけません。まして放射能に汚染されているがれきは、言い方はきついかもしれませんが、放射性物質になってしまっています。絶対に燃やしてはいけません。それを舞洲で燃やし、夢洲にある処分地に埋めるというのはムチャクチャです。

◆燃やせば濃縮される

「一〇〇ベクレル／キログラムなら食品基準と同じで安全」と政府も橋下市長も言いますが、燃やせば濃縮され、約三三倍になると言われています。大阪市が受け入れる総量は三万六一〇〇トです。ベクレルでは三六億一〇〇〇万ベクレルです。一〇〇ベクレル／キログラムというのは、一^キロ^ロの放射性物質があつたら、一秒間に一〇〇本の放射線が、目には見えないけど飛んでいる、ということです。それに当たれば細胞が傷つけられ、長い間に影響が出てきます。

◆労働者も被曝する

また、市は「焼却工場ではバグフィルターという排ガス処理設備がある」「セシウムは^{ばいじん}煤塵に吸着するのでほぼ一〇〇^{ナノ}ナノ除去、収集できる」と言っています。しかし、仮に説明どおりとしても、バグフィルターにはセシウムが吸着します。が

れきからバグフィルターに濃縮されて移るだけです。このバグフィルターも放射性物質となり、焼却炉^ろも放射性物質となり、がれき処理が終わったあとも放射能を放出し続けることになります。そして焼却工場で働く労働者、運送にかかわる労働者も被曝します。政府の震災がれき広域処理政策は、放射能の拡散、被曝^{ひばく}の拡大です。

◆東北支援のあり方は

受け入れるのがれきではなく避難してくる人、また、東北に安全な食べ物を送る供給地として大阪をはじめ関西が機能する―これが東北支援の一つのあり方ではないでしょうか。



三里塚産直野菜の会 千葉県三里塚の

無農薬野菜の販売や勉強会などを通じて三里塚や被災地の農民を支援し、反原発の声を広げる活動を展開。磯路二・三、

九（三社神社南側すぐ）、TEL・FAX
〇六・六五七二・〇一三〇。

× × × × × ×

※このスペースは、社会や地域への思いを自由に述べて頂けるよう読者のみなさんに開放しています。

働く仲間の相談所

倒産、解雇、賃金不払い、条件切下げなど何でも

困ってませんか？

無料

港合同

(南市岡3-6-26)

6583-4858

「払えば食えぬ！」

区役所で国保引き下げ交渉

「食えば払えず、払えば食えず」――。

七月三十一日に港区役所で行われた「国保交渉」には約三十人が参加。長引く不況と貧困化の中で支払い限度を超える保険料負担に切実な声が相次ぎました。毎年この時期に行なわれている交渉で、主催は区内の諸団体から成る港区国保対策連絡会。

◆3割減免の継続など要求

まず、事前に同会から提出されていた「最低生活費に食い込まない減免制度を」「保険料滞納で短期保険証や資格証明書（無保険）になっている世帯の状況把握を」「全ての滞納者を悪質とみなす無差別的な財産調査の中止を」「市独自の三割減

免や一般会計への繰り入れの継続を」――などの「要望」に対して港区役所（窓口サービス保険年金担当の四人）から「回答」が示されました。

この中で区の担当者は、①国保制度維持のために、市は巨額を繰り入れたり独



→高過ぎる保険料に切実な声が相次

いだ「国保交渉」Ⅱ7月31日

自の負担軽減制度を導入したり、国に抜本改善を求めたりしているが、財政基盤が脆弱（ぜいじやく）という構造的な問題がある②滞納世帯に対しては、実情の把握と実情に見合った丁寧（ていねい）な対応に努めている③皆さんの声はできるだけ今後の施策に反映させるよう努めたい――と、市としての基本的立場を強調し、理解を求めました。

◆生活保護は最低基準

このあと質疑応答が行なわれ、参加者と担当者との間で主に次のようなやり取りがありました（↓の後は担当者回答）。

・最低生活ライン（生活保護基準）より下の世帯が保険料を取られ、生活も命

も脅（おびや）かされているのに、逆に生活保護が贅（ぜいたく）沢（たく）だとして切り下げようという宣伝を

は（は）しもと

橋下市長やマスコミが行なっているが、正（しょう）気（き）の沙汰（さた）ではない。全体の奉仕者として

の役人こそ正気を失ってほしくない↓

誰もが保険料を納めやすいようにという

思いは我々も同じ。そのため国保制度を維持・運営し、応分負担や個々の実情に応じた納付相談などに努めている。要望と実情は区長・市・国へ上げさせて頂く

◆きめ細かな対応を

・国民皆保険制度の趣旨から、保険料を納めていなくても短期保険証は無条件で交付を↓保険制度維持のため、何とか納めてほしいとの苦肉の策として短期保険証があるが、きちんと納めている人との公平性という面からも、接触して実情を把握した上で交付している

・父の病気の世話などで保険料が払えなかったが、いきなり「いっぺんに払え。でないと差し押さえする」と連絡があった。払う意思はあるのに冷たい対応ではないか↓予告・催告は何度もしたはずだが、更にきめ細かな対応に努めたい

・窓口負担の減免の判断などで区独自の柔軟な対応を↓今は市が保険者なので、

その枠内で検討したい

・高校生以下を含む世帯への短期保険証交付はされているのか↓電話や文書で何度も働きかけた上で、なおかつ区内で三世帯に未交付だが、引き続き手元に届くよう努める。

——交渉のあと、参加者の一部は保険料の減免申請などの手続きを行ないましたが、提出された「減免申請書」の理由欄にも、高すぎる国保料に苦しむ実情が記しされています。



解説 大阪市の国民健康保険には、無

職・非正規雇用・自営・定年退職などの低所得者が多く加入しています。その平均所得（平成二十一年）は五三万円と全国でも最低レベル。その中で、国保はいわば貧しい市民の「命綱いのちづな」ともなっていますが、国の負担は一九八〇年の五八割から二五割へと減らされ、その分は加入

者の保険料に上乗せ。所得二五〇万円の四人家族に国保料四四万円が課されるなど、「とても生活できない」の声が上がっています。そんな中で他の市町村では減免制度を作るなどの努力が払われていますが、逆に橋下市長は国保料の値上げを「市政改革プラン」に盛り込みました。

こうした中で行われた今回の国保交渉ですが、生活と健康への不安、それを一層深める国政と「橋下改革」への庶民の怒り、そして、その間に立つ地方公務員の苦悩がひととき強く感じられるものとなりました。

経験学び合い快適な

マンションライフを

管理組合交流会がスタート

「マンション生活の様々な問題や悩みを気軽に出し合い、学び合い、考え合い、励まし合いましょう」。磯路のマンションで管理組合の理事をしている女性、山口伸枝さんのぶえが「マンション管理交流会」の開催を呼びかけ、その第一回が七月二十九日に港区民センターで開かれました。区内の三マンションから六人が参加しました。

交流会は山口さんの司会で進行。「どこかのマンションか」「築何年か」「大規模修繕を過去何回したか」「現在どんな工事を検討中か」などを含む自己紹介に始まり、

様々な情報交換や経験交流が行われました。その中の主なやりとりは次の通り。

◆良くない管理会社任せ

「大規模修繕の業者選びを管理会社任せたら、関連会社に仕事を回すなどしてメチャ高かった。三社くらいから相見あい



→「情報交換や経験交流で快適なマンションライフを！」と開かれた

「第1回マンション管理交流会」

積もりをとったらメチャ安かった」

「とはいっても、工事の度に見積もりを取るのも一概に良いとはいえない。慣れない業者が失敗してやり直しをし、却かえって高くついたこともあった。それよりも、信頼できる業者を皆で慎重に選び、マンションの事情によく通じてもらい、メンテナンスなどのアフターサービスも含めて良心的に仕事をしてもらうのが、結果的には一番安くつく。うちのマンションは、そうしてできた一業者との信頼関係を五年くらい続けている」

「管理組合から毎月四十万円を掃除代そうじとして管理会社に払っているが、掃除会社やその従業員への支払いまでにピンはねもあって高すぎるように思う。管理費が一気に月五千円上がったこともあり、七十代の年金生活者は『これはきつい』と嘆いておられた」

「管理会社任せというのは楽やけど、

無知に付け込まれる危険があり、結局は住民の利益につながらない」。

◆住民意識の向上が鍵

「何でも住民自らの目で点検することが大事。うちのマンションには工事に詳しい住民がいて、『この部分のこの工事ですんなにかかる訳がない』と見積もりに注文をつけ、安くさせた経験がある。要するに管理会社に負けんくらいの（知恵や力のある）管理組合を作らなあかんということ」

「うちのマンション管理組合には広報担当がいて、重要な問題が生じた時には広報を発行して事実を知らせ、自分たちで考えてもらうようにしている」

「うちのマンションでは忘年会に管理会社や工事業者が参加するなど、親しくなり過ぎてはじめが無くなり、却ってよくないように思った。一線を引くべきかも」

「うちのマンションでは住民意識が高く、月一回の自主清掃をしたり、汚れや破損が目についたらその人が掃除・修理するようにしたりしている。だから掃除や修繕の費用がほとんどかからず、（売上等の点で）管理会社泣かせ（笑）の面もある」

「うちのマンションでは理事長が代わったら必ず前の理事長などが補佐役として付くようにしている」

「どんな問題でも住民の三割くらいの反対はある。が、これは集団生活にはつきものだと割り切っている」

◆今後も交流重ねよう

「こうした情報交換・経験交流のあと、参加者は「今後もうこうした交流を重ね、各管理会社の評価なども行い、その成果を港区の他のマンションにも返しなごら、港区の全てのマンション住民が快適なマンションライフを送れるよう、頑張つて

いきましよう」（山口さん）と確認しました。

この交流会についての問い合わせは山口さん（携帯〇九〇・九二七五・九九九一、FAX六五七一・六二五四、メールmoon・respect@ezweb.ne.jp）まで。

交通事故のお悩み

どんな事でも相談下さい
自転車事故もお気軽に

行政書士のむら事務所

築港3-7-1-608 ☎6576-6078
<http://www.jiko110-nomura.com/>



催しガイド

■市岡下水処理場「一般公開」

汚れた水がよみがえる仕組みを学べる「施設見学」(最終回は十五時半から) **Ⅱ写真は昨**

年の様子Ⅱをメインに、①下水管内部の

テレビ実況中継②微生物の顕微鏡観察③

下水道の歴史を学べるDVD上映④下水

道資源の有効利用⑤抽水所⑥ゲーム等

の各コーナー。地球環境に優しい肥料や

透水性レンガなどのプレゼントあり。家

族で楽しめる工夫がされている。九月八



日(土) 十～十六時(小雨決行)。市岡二

・一五・二五、☎六五七一・三三六三。

■ワークみなと「東北食品市」

東日本大震災で被災した福島県いわき市の精神

障害者作業所が、震災前の地元産材料や

宮城県産材料、昔ながらの製法で作った

体と心にやさしい豆腐・豆乳・青豆豆腐・

ドーナツなどを販売し、復興努力を物心

両面で支援。毎月第二・第四火曜(八月

は第四火曜のみ) 十五時半から(売切御

免)▽ワークみなとは主に精神障害者を

対象とした就労継続支援B型の指定障害

福祉サービス事業所(夕風二・六・三、

TEL・FAX六五七一・七五一一)。

■自閉症児を応援する気エネルギーワー

ク プロの気エネルギー療法士が「自閉

症児の体や心が少しでも楽になれば」と

続けている。「気楽な参加」を呼びかけ。

参加費無料。要予約。毎月第二・四土曜

(八月は二十五日、九月は八、二十九日)

十五～十八時に松井整骨院内で。弁天四

・一〇・二六、☎六五七二・一一六五。

■ムチ打ち(首・腰) 無料相談会

交通事故でムチ打ちになった被害者が対象。

八月二十六日(日) 十～十八時に行政書

士のむら事務所(築港三・七・一・六〇

八)で。一人約一時間。「どうしたら正當

な補償が得られるかをアドバイスします」

「事故後、早めの相談が良い結果につな

がります」(同事務所・野村光恵さん)。

電話(六五七六・六〇七八) かEメール

(info@jikkol10.nomu

ra.com)で要事前予約。

■「海の日」記念・中学生海の作文コン

クール 海への関心を高めるため毎年実

施。海(海運・造船・港湾など海に関わる

事)を主題に四百字詰め原稿用紙五枚以

内で。九月三十日締め切り▽応募及び詳

細は主催の近畿海事広報協会(海岸通一

・五・二五、☎六五七三・六三八七)へ。

■緑の地球ネットワーク（GEN） 中

さんせい こうど

国山^{さんせい}西省大同市の黄土^{こうど}高原で一九九二年

から緑化協力を続ける認定特定非営利活動法人。地球環境のため国境を越えて力を合わせている。次のような協力方法がある。

①会員になる 年会費一万二千元

②会報を購読する 年間二千元 ③カンパ

する 金額自由（税制上の優遇措置あり）

④絵はがき『黄土高原の花』を購入する

八枚組三百円 ⑤ビデオ『よみがえる森』

を購入する 三十分五千元 ⑥古切手・書

き損じはがき・外国コイン・商品券等を送る

⑦ボランティアになる 会報發送等

など。▽いずれも詳細はGENの事務所

所（市岡一・四・二四・五階、☎六五七

六・六一八一）へ。

■アフリカへ毛布をおくる運動 貧困・

紛争など厳しい状況に置かれているアフリカの人々に毛布を贈り、生きていく力を――と始まった運動。一九八四年以来三

百数十万枚の毛布が二十以上の国々に。

参加方法は①毛布＋海外輸送協力金（九

百円）②海外輸送協力金のみ――の二通り。

アフリカ協会、立正佼成会等から成るア

フリカへ毛布をおくる運動推進委員会

（JBAC）が主催。外務省、国連難民

高等弁務官駐日事務所等が後援。詳細は

☎六四四一・六〇一一大阪普門館^{ふもんかん}か会員

の大江さん（夕風、☎〇九〇・二三八一

・一六三一）まで。

■港南中学校同窓会からの呼びかけ

「創立五十周年記念式典・祝賀会が今年

十一月十日に開催されるが、同窓会全体

での『記念の集い』開催は難しいので、

期ごとに開催するように」と木村良雄会

長（田中）が呼びかけている。また一期

生（約五百八十人）の集いが十月二十八

日（日）正午からホテル大阪ベイタワー

で開催される（参加費七千円、申込締切

十月十日）。問い合わせ・申し込みは☎〇

八〇・三七七六・六一二八同会長まで。

■第5回「港区民音楽祭」出演グループ

募集 区内で活動するアマチュアコーラ

スやゴスペルグループの発表・交流の場

である「港区民音楽祭」（十一月二十五日

に港区民センターで開催） 写真は昨年

の模様Ⅱへの出演グループを募集。当日

会場で案内や誘導などに携わるボランティア

も募集。申込は八月二十四日（金）

までに来館かファックスで港区民センタ

ー（弁天二・一・五、☎六五七二・〇〇

二〇、FAX六五七二・〇二七四）へ。



やり切れない！

（池島1・勝部泰臣79歳）

もう二十年前か。山形の中学生のマツト蒸し。講堂の体育用具室で死亡。ワイドショーで、あの前田武彦が号泣した。私も涙し、怒り、その校長宛てにハガキを出した。いじめに気がつかなかったとは本当か、他の生徒は知っても誰もが黙っていたのかと。今また大津の中学生の自殺。やり切れない。

落語の枕に、葬式ごっこをしていた子が泣いて母に訴える場面がある。「かっぎ役ばかりでシンドイ」「よしよし母さんが云うてやる、死人役にしてくれて」。余りいい話ではないが、当時の子供の心は、そんな他愛ないものだった。が、大津の「自殺のけいこ」に至っては、何と云えば良いか。隠ぺいは原子力ムラ、政

界、財界だけかと承知していたが、教育界にも及んでいたとは…。日本及び日本人も変わった。勉強はそこそこだがやら正義感の強い子、不良（番長）と云われながらも弱い者いじめをする小者を叱り飛ばす男の子―そんな姿がどこでも見られた戦中の昭和十年代。不幸な時代ではあった。が、日本人の心は美しく、辛抱強く、今と比べれば高貴でさえあった。

市政改革で地域崩壊

もっと声上げるべき

（弁天・40代女性）

『『市政改革』で地域はどうなる』（前号トップ記事）を読んで。「地域活動をビジネス感覚でやりましょう」「地域活動に必要な財源は自分たちでビジネスをやって確保しなさい」「役所がこれまでやってきた分野は企業などに売り渡し、ビジネスとしてやってもらいます」という橋下

市長の狙いが見えてきました。この「市政改革プラン」については、色々な施設や事業が廃止・削減されるという面が問題視されていますが、もちろんそのことも大事ですが、むしろ、港新聞で指摘された「地域のビジネス化」という問題の方が深刻だと思います。なぜなら、地域にまで経営感覚や市場原理や競争意識が持ち込まれることで、地域活動が質的に変わってしまうからです。よくもこんな愚かな（というより狡猾な）ことを橋下



→読者の作品から辻悦子さん

（市岡元町3）の絵手紙

氏は考えたものと呆れます。どこまで大阪を、地域を壊したら気が済むのでしょうか。市民はもつと声を上げなければならないと改めて思いました。港新聞さんには、これからもこうした面で警告を発してほしいです。

平和で温かみある国に

宇賀さんの言葉に共感

(田中・80代女性)

いつも「戦争体験」を最初に読みます。

私はパソコンを持っていないし、もちろんインターネットも使わないので、港新聞の冊子版を申し込み、読ませてもらうことになりました。宇賀久美子さん(5、6、7月号)は同世代なので、特に興味深く読ませてもらいましたが、「平和であると共に温かみのある国であってほしい」という最後の言葉に共感しました。私も疎開先で空襲を体験し、幸い家族に犠牲

はありませんでしたが、戦争の悲惨さは身にしみて感じています。でも、平和の中で後期高齢者になった今、世の中がとても息苦しく、またよそよそしく(変な表現ですが、適当な言葉が見当たりません)感じられるのはなぜでしょうか。そんなことも「戦争体験」を読んで考えさせられています。

技術と温かな心生かし

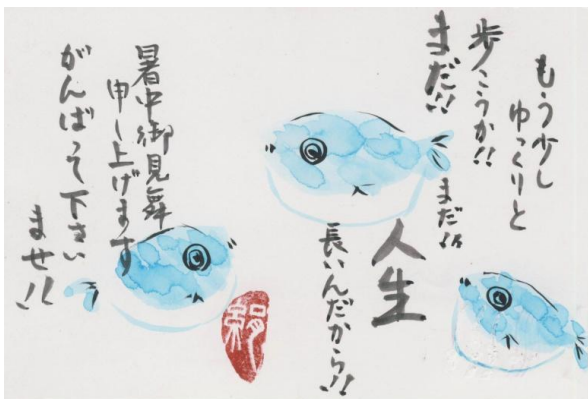
花田さんがんばって!

(池島・70代男性)

「みなとの技を訪ねて」(7月号16頁)

を読んです。今回はロケット部品を製作した技術のルーツをたどる内容でしたが、中卒後に入った工場で「先輩にどつかれながら覚えた」という旋盤やフライス盤の操作が、後の偉業に役立ったことが分かりました。退社時に先輩が測定器具をプレゼントしてくれたというエピソード

に、当時の職場の雰囲気がよく表われており、読んでいる私の気持ちも温かくなりました。生き馬の目を抜くような競争で、労働者が非正規ばかりになった今の工場では考えられないことだと思っています。高い技術と共に、職人のど根性、そして



→読者の作品から尾崎キヌ子

さん(池島3)の絵手紙

工場労働者の温かな心を持っている花田さんのような人には、これからも末長く頑張っしてほしいと心から思います。

そろばん国際化に驚き

森友さんの努力に脱帽

(築港4・30代女性)

最近、そろばんがやけに注目されているなどと思ったら、その「仕掛け人」は港区のそろばん塾の塾長さんだったことを港新聞(6、7月号)で知ることができました。国内よりもむしろ外国の方(かた)にそろばんの凄い力が伝わったというのはとても驚きで、面白いことですが、その陰には森友さんらの「何とかせな」という情熱があったのですね。外国人講座を開くことを見越して英語を習得されるなどの努力と計画性に脱帽です。(連載が)もう一回続くということですが、楽しみにしています。

実際に観ているよう

演劇評が面白かった

(奈良市・40代男性)

インターネットで港新聞を知り、初めて読ませてもらいました。文化記事、特に二つの演劇評に読み入りました。どちらも短いのですが、内容がよく分かり、実際に観(み)ているようでした。『季節はずれの花』(7月号17頁)では老芸人の哀歓入り混じった生き方に胸がジーンと熱くなりました。『給食のおばちゃんより愛をこめて』(同21頁)では出演者のコメントから「皆で舞台を作り上げる喜び」が感じ取れました。他にも考えさせられる記事が多く、ミニコミとは思えない質の高さに感心しています。これからも毎月楽しみに読ませて頂きます。

× × × × ×

※読者の皆さんの投稿を歓迎します。

内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行います。匿名(とくめい)でも構いませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファックスかメールで送って下さい。

隠岐 OKI 珈琲館
炊きたてコーヒー
手作りハンバーグ
おいしいおいしい!
マスターおすすめ!
営AM7:00~PM5:00 休毎週月曜日
磯路3-25-6 ☎6575-3051

お喋り楽しいわ!

三先コスモスが10周年

三先地区のふれあい喫茶「コスモス」

が十周年を迎え、七月十八日、その節目のイベントが三先老人憩いの家で開かれました。といっても、内容はいつも通りで、入れ替わり立ち替わり訪れる老若男女約百人が、珈琲やお菓子を囲んで賑やかにお喋りを楽しみました。

飲み物は温珈琲・冷珈琲・温紅茶・冷紅茶・蜜柑果汁の五種類で、どれでも一杯百円。これに季節のお菓子が付きますが、蒸し暑いこの日は涼しげな水羊羹でした。また、この日は十周年ということで、ボランティア編み物サークル「つくしの会」が古い毛糸を活用して編んだ「毛糸の食器洗い」が来場者全員にプレ

ゼントされました。

☆飲んで食べてお喋り

数年前からほぼ毎回参加しているという大西ナツ子さん(八五)、伊藤富士子さん(七八)、山本利子さん(七五)、近藤種



→入れ替わり立ち替わり訪れる老若男女で賑わった三先地区のふれあい喫茶「コスモス」

穂さん(七三)は、大西さんが営む「スナック清美」が縁で結ばれた四人グループ。「普段はなかなか顔を合わされへんけど、ここへ来たら珈琲やジュースを飲みながら、ゆっくりお喋りできるのが楽しい」「忘れていても、誰かが声をかけてくれますねん」。

また増田花子さん(八〇)ら別の女性グループ三人は三先女性会民踊部を通じての知り合い。「いつも飲み物は二種類頂いています」「とにかく、飲んで、食べて、喋るのが楽しいんです」。

——ということで、どの参加者も、ここへやって来る目的は「お喋り」に尽きるようでした。

☆地域あげて取り組み

このふれあい喫茶は毎月第三水曜日の午後一時半から三時半まで同所で開かれています。

主催は三先地区社会福祉協議会(笠谷

一男会長)ですが、飲食などの世話は三先地域ネットワーク委員会の三十数人が交代で担当、会場の設営などは地域振興会三先町会連合会の男性陣が手伝うなど、地域あげての取り組みとなっているのが特徴。また地元の介護施設「あおぞら」



→「お喋りが楽しい」と毎回参加

している(手前から)伊藤富

士子さん、近藤穂穂さん、大

西ナツ子さん、山本利子さん

や障害者作業所「ゆうゆう美波途」の利用者も毎回参加し、「地域の色んな層と交流できる」(七十代男性)と好評です。

さらに、地元喫茶店の豆から点てる本格珈琲、地元菓子舗が選んでくれる和菓子も自慢の一つで、「お喋りの潤滑油」としての役割を果たしています。その他、座り席だけでなく椅子席や庭席も設けられるなど、高齢者や障害者への配慮が随所に見られたのも温かく感じられました。



→飲食の注文に応えるネットワ

ーク委員。てんやわんやの忙

しさに「やりがい感じます」

☆てんやわんやも楽し

ネットワーク委員の中西純子さん(七三)、藤本悦子さん(六二)らは「毎回たくさんの方がお見えになり、飲食のお世話はてんやわんやです。おまけにスタッフの高齢化(笑)も進み、注文を忘れたりすることもありますが、賑やかにお喋りされている様子を見たり、『おいしかったわ』と声をかけてもらったりすると、そんな苦勞も吹き飛びます」と話していました。

三先老人憩いの家 三先一・一四・九、
公六五七四・四二四八

学校

くつきり月面に歓声

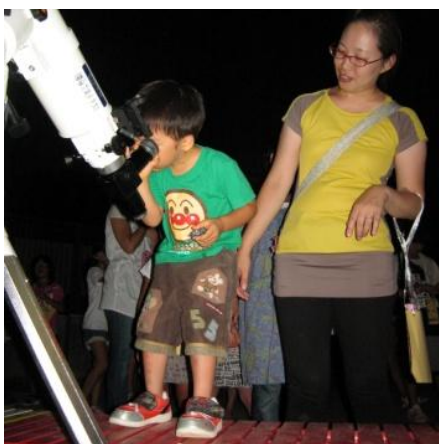
三先「星を見る会」が30回

三先小学校（山田良則校長^{よしのり}）と同PTAと地域の人々による夏の恒例行事「星を見る会」が今年も七月二十八日夜、同校校庭で催され、賑わいました。三十回目。同校児童（四百四十三人）の大半と地域の人々と合わせて数百人が、天体観測や夜店で夏の盛りの夜を楽しみました。

★地域一体の取り組み

開会式では同校PTA・塚目晃広会長^{つかのめあきひろ}が挨拶に立ち、この行事が地域一体で継続され、三十回の節目を迎えたことを強調しました。また第一回から天体観測の指導をしている高橋正幸さん^{たかはし まさゆき}（七〇）は「六月には土星の輪が見えました。今夜は月のクレーターを見てみましょう。八月

月十二日の夜九時から翌日の明け方にかけて、ペルセウス座流星群^{りゅうせいぐん}が見えるので、



→高橋さんや青少年指導員の世話で次々と天体望遠鏡を覗く親子

観測できる人は挑戦してみましよう」と呼びかけました。

子供たちはまず校庭に設けられた夜店で、たこせん、フランクフルト、冷やしパインなどをふるまってもらい、スーパードールすくい、ストライクパーフェクト、シュートゲームなどの遊びを楽しみました。PTAのお母さんたちが汗だくで世話していました。

★クレーターを観測

メインの天体観測は空が暗くなった七時過ぎから本格化。子供たちは星座早見表の使い方を教わったり天文学習DVDを鑑賞したりした後、三台の天体望遠鏡（屈折望遠鏡）に列を成し、青少年指導員らの世話で次々と覗きました。触^{さわ}つたら（望遠鏡が動いて）見えへんようになるで！」などと注意されながら、くつきりと見える月面のクレーターに「見えた！」「すごい！」「でこぼこや！」など

と歓声を上げていました。

八時過ぎ、打ち上げ花火五発が次々と夜空に上げられ、子供たちの大歓声と共に、行事は最高潮を迎えました。

★「いい催し」と保護者

小学一年生の長男・たくみ 太空海君と三歳の次男・かつや 勝哉君を連れて初めて参加した伊井知里さんは「月のクレーターがはっきり見えて感動しました。他にも色々なコーナーが用意され、とても温かい行事だと感じました。PTAなど地域の方々の協力で三十年も続いているのは素晴らしいことですね。来年も参加したいです」。

やはり初参加の本田美佐子さんは「ゲームだけでなく天体観測もできるところがユニークで健康的ですね。地域の方々が力を合わせて続けておられることに感激しました」。その横で娘の咲葉ちゃん（二年生）は「月の凸凹でこぼこが見えました。また見たいです」と満足そうでした。

伝統行事

工場街にコンチキチン

■福崎住吉神社■

初のだんじり巡行

工場街に響くコンチキチン。福崎住吉神社（福崎1、糸数智子宮司いとかずぐうじ）の夏祭り（七月十七、十八日）で初の「だんじり巡行じゆんじう」が行われました。

◆曳き綱に子供たちも

だんじりが同社前を出発したのは十八日、まだ日差しの強い午後五時でした。大阪天満宮を中心に活動するだんじり保存グループ「龍青会りゆうせい」の十数人が鉦かねや太鼓たいこで「♪コンチキチンチンチンチンチンチン」と威勢の良いだんじり囃子ばやしを奏かなで、地車じぐるまの木製車輪うじちがごろごろと地響うじがみきを立てながら周辺の氏地うじち（神社の氏神が守護する地域）を進みます。珍しい音と光景

に工場から出てカメラを向ける人も。途中から地元の子供たち数人も曳き綱ひづなに参加。約一時間かけて同社前に戻りました。

◆重いけど楽しかった

流れる汗をタオルで拭ぬぐいながら、最後まで懸命に綱を曳き続けた植田未来音うえたみことち



→ 福崎の工場・倉庫街を進む福崎住吉神社のだんじりⅡ 7月18日

やん（池島小二年）は「地車を曳くのは初めてです。暑くてしんどかったけど、重いだんじりをみんなで動かせて嬉しかったです」、一緒に綱を曳いていた母親の美由紀さんは「お祭りは大好きで、あちこちの夏祭りに参加していますが、曳き回しは初めてでした。意外と重くてびっくりしましたが、とても楽しかったです」と話していました。



→汗だくになりながら笑顔で地車を曳き続ける少年少女

◆年季の木彫り

龍青会によると、この日使われただんじりは「戦前・戦中・戦後に作られた幾体かの古いだんじりを組み合わせで作られ、普段は鶴橋で保管されている」ということで、屋根や側面には年季を感じさせる複雑な木彫りが施されていました。浜口善弘会長（三九）は「今日はこの神社の初めてのだんじり巡行に貢献できて光栄です。秋にはメンバーを増やし、更に盛り上げていきたい」と話していました。

◆神楽や龍踊りも

なお、前日の「宵宮」では子供たちによる神楽奉納や龍青会による龍踊りなどが、この日の「本宮」では湯神楽奉納などが行われ、両日とも境内では午後九時ごろまで、だんじり囃子をバックにゲームや飲食のコーナーが開かれ、賑わいました。

とにかく得電ねん!

LED照明に

換えてみませんか!

コスト減 + 環境貢献

(電気代カット・驚異の長寿命) (CO2を削減・有害物質ゼロ)

- 割れない、熱くない、すぐ点くなどのメリットも
- 店舗、工場、オフィス、家庭、屋外、公共施設に
- 場所や用途に応じてタイプ色々、取り替えも簡単

中小企業で世界初の全社屋LED化<見学歓迎>

前田機械(株) LED事業部 (LED照明・企画販売)

市岡元町2-3-28 ☎6582-5010

<http://www.maedamachine.com>

子や孫に自分の人生をのこそう!

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

島根県から上阪し、金属系企業で働きながら労働運動にも力を注いできました。全国的な運動退潮の中、10数年前に第一線を退きましたが、この間の経験と教訓がいつの日か運動の再興に役立てばとの思いから港新聞に相談し、冊子にしてもらいました。(70代男性)

400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

★文書全般の代筆も承ります★

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

ボランティア

笹を囲んで国際交流

市岡日本語教室が七夕まつり

日本で暮らす外国人にボランティアがマンツーマンで日本語を教える「市岡日本語教室」。その学習者やスタッフによる「七夕まつり」が七月六日夜、港区民センターで開かれ、笹を囲んでの国際交流が行われました。「日本で暮らす外国人たちに日本の風情を味わってもらおう」と同教室が誕生した十七年前から続く伝統行事。雨空について、学習者約五十人、ボランティア約七十人など、合わせて百数十人が参加しました。

★浴衣姿で願い事を

企業研修生としてやって来たベトナムの若者たち、タイや台湾から日本へ勉強に来た学生たち、ネパール、マレーシア、

中国、欧米などから来日して暮らす人たちなど、学習者の出身国は様々。ボランティアの助けを得ながら、浴衣を着たり、願い事を書いた短冊を笹に飾りつけたり、笹飾りの前で写真を撮ったりして七夕ムードを満喫。短冊には「世界が平和になりますように」「進学（就職）がうまく



→浴衣姿で願い事を書いて

ご機嫌の外国人女性ら

いきますように」「恋人ができますように」「オリンピックで（母国の）選手が活躍しますように」などの夢や目標が日本語で書かれていました。

舞台では「七夕」伝説の説明、中国人・劉博雅さんによる珍しい「太極扇」演武、大阪の民謡を伝承する「日本民謡隆勢会」の子供たちによる民謡の発表などがあり、最後は子供たちの三味線伴奏に合わせた「七夕」の全員合唱で盛り上がりました。

★ボランティア募集

「市岡日本語教室」は財大阪市コミュニティ協会港区支部協議会とNPO市岡国際教育協会の共催で、毎週金曜日の夜七時から八時半まで港区民センターで開催。学習者、ボランティアを随時募集。

見学自由。問い合わせは担当の札葉さん（☎〇八〇・三八四六・二五八一）まで。

業者

やっぱ薪の湯はええ！

近所の人たちの激励を力に

扇温泉が奇跡のカンバック

「やっぱり薪まきの湯はええわ」。市岡二丁目おつきの公衆浴場「扇温泉」が五月二十四日、七カ月ぶりに営業を再開。近隣の利用者から喜ばれています。

◆肺炎で入院、休業

主人の丸田外喜さんそとぎ（六二）が肺炎で入院、やむなく休業に至ったのは昨年十月十一日でした。同年一月に罐かま（ポイラー）を取り換えたばかりでもあり、「このままでは終われん。何とか早く再開を」と懸命の闘病生活が続きました。妻の加奈里さんなり（五四）は「お客様へ。長い間ご迷惑おかけしてすみません。主人は必ず治って、元気になって帰ってきます」。

←営業再開を果たし、「近所の方たちの励ましのお陰です」と感謝する扇温泉の丸田外喜さんと加奈里さん



今しばらく待つて下さい。扇温泉は必ず再開します！ その時はまた、よろしくお願い致します」と書いた紙を玄関に貼り出しました。その一字一字には、夫の回復かいふくと営業再開への願い、近所の人たちへのお詫わびの気持ちが込められています。

◆ゆっくり養生しいや

その甲斐かいあつて今年一月三十一日に外喜さんは退院。しかし、「軟らかくて湯冷めしない」という薪のお湯を提供するには、廃材を電動鋸のこ（チェンソー）でカットするなどの重労働が欠かせないため、職業病ともいえる腰痛ようつうと五十肩ごじゆうがたがある外喜さんには今しばらくの養生ようじようが必要でした。

“じつと我慢がまん”の日々が続き、その間に自分たちが他の銭湯を利用することにもなりました。が、このことは「近く銭湯がない人たちの不便さ」を実感させ、再開の必要を一層痛感させることになりました。が、近所の人たちは、焦あせる外喜さんらを「（再開を）待つてるけど、ゆっくり養生きづかしいや」と逆に気遣きづかってくれたそうです。「これは本当にありがたかったです」と加奈里さん。

◆力仕事の手伝いも

そうして五月二十四日、待望の営業再開を果たしたのですが、これにも近所の人たちの協力がありました。定年退職した男性が、瞬発力が要るチェンソーの始動（紐引き）を、「大変やろ」と代わってくれたり、半年以上使われなかった浴場や脱衣場の片づけ・清掃を、夫妻の長男と一緒に手伝ってくれたりしたそうです。

◆「銭湯は地域の財産や」

再開から二カ月以上がたち、かつての



→「再開を待ってたんや」「やっ

ぱり薪の湯はええわ」と喜び

合う利用者と丸田夫妻

賑わいが戻りつつある脱衣場。「なくなっ
てありがたみが分かった」「銭湯は地域の
財産や」。利用客の口から出る一言一言に、
実感が籠（こも）っていました。



経営難にも公的助成がほとんどなく、
長時間重労働にも耐えながら、“地域の
健康と交流の場”銭湯の灯をともし続け
る業者。高齢化や設備老朽化をきつかけ
に廃業に至る例が後（あと）を絶ちません。その
中での奇跡ともいえるカンバックに、区
民は励まされています。

扇温泉 市岡二・一四・一（関西スー

パー南五〇〇）、☎六五七二・〇四七三。

十五時～二十三時営業。水曜定休。

エッセイ

みなとタイムスリップ



⑮

交通科学博物館 課長

ほそかわ たけし
細川 武志

役所・工場・ビアボーイ…

青春はバイトと共に

「♪夏が来れば思い出す…」という唄
い出しの歌がありますが、私の夏の思い
出は、汗にまみれてアルバイトに従事し
た苦（にが）い日の数々です。

高校二年時の夏休みに港区役所ではじ
めてのアルバイトを経験しました。日給
は四〇〇円ほどで約三週間、印鑑証明の
補助みtainな仕事を、無愛想（ぶあいそ）なおじさん

の手ほどきのもとで何とか頑張りました。
大学に入り、夏休みの一か月ほどは近所の鉄工所で朝の八時から夕方の六時まで、汗だくで働きました。賃金は八〇〇円。あまり役にも立たなかった素人を雇用して頂いて、今でも感謝しています。

次の年の夏休みはアルバイト漬けの日でした。前年の秋から阪急電車の神崎川駅で毎朝、「押し屋（ラッシュ）時に乗客



→バンド演奏を耳にしながら汗だくでジョッキを運んだ大学の夏の…今もハワイアンを聴くと過酷な日々が甦る

を電車に押し込む作業」に従事していて、早朝の一時半ほどの勤務の後は、日勤のアルバイトは不可能です。そこで扇町公園にあった通称「学相」通いをし、マレーキングのアルバイト幹旋を受け、二週間ほどは昼間に神戸地区の住宅を訪問するアンケート調査をしました。思うようには成果が上がらず、止む無く午後三時ごろには切り上げ、四時半には梅田の富国生命ビル屋上のビアガーデンでボーイに変身。ここは舞台でハワイアンのバンド演奏があり、それを楽しみながら生ビールをあおっている人たちにビアジョッキーを運んでいましたが、疲労困憊でジョッキーも気持ちも重たかったものです。今でも「タイニーバブルス」というハワイアンソングを耳にすると、あの過酷だった夏休みが蘇ります。
アルバイトで稼いだ資金の大半は部活や旅行、遊興費に消えましたが、夏休み

以外のものを含め、数々のアルバイト経験は、今ではかけがえのない試練だったと思えます。
(つづく)

土曜の午後 **うたごえ喫茶**
生伴奏で声あわせ 弁天町駅前 **ねこじゃらし**
★ 毎週土曜日 14:00~16:00
★ お楽しみ料金:お1人1000円
★ 波除5-7-6 ☎6581-8760
JR弁天町北口前ローソンから北100m
<http://necojyarasi.jimdo.com/>
歌えば心は青春!

スポーツ

波除小が貫録の3連覇

区Pバレー16チーム熱戦

第四十四回港区PTA親善女子バレーボール大会（港区PTA協議会主催）が七月二十二日、港スポーツセンター（田中3）で開かれました。十六チームが参加し、波除小が優勝、築港小が準優勝でした。

開会式では港区PTA協議会・山本慎一いっし会長（弁天小学校PTA会長）、田端尚伸のぶ・港区長が激励のあいさつ。南市岡小の前田さおり副主将が『お母さんがそんなに楽しいのなら』と気持ちよく送り出してくれる家族の期待に応え、また試合後には祝勝会と称しておいしいビールが飲めるよう、全力でプレーすることを誓います」と明るく爽やかに選手宣誓を行

←明るく爽やかに選手宣誓を行
う南市岡小学校PTAチーム
の前田さおり副主将



い、会場を和ませました。

◆昨年と同じ顔合わせ

白熱のトーナメント戦を勝ち抜いて決勝に駒を進めたのは昨年に続いて波除小と築港小。四試合目とあって疲れがピークに達する中、ミスにも声をかけて励まし合いながら、息詰まる攻防を繰り返しましたが、久保田久美子主将を中心に、安定感のあるサーブカット、冷静で無駄のない動き（無理な体勢からスパイクを打たない、相手コートの隙を狙ってボ―

ルを返すなど）を最後まで崩さず、北川・船蔵ふなくら両アタッカーにボールを集めて効果的に得点を重ねた波除小が、第一セットを失ったものの、第二、第三セットを危なげなく連取して勝利を収めました。築港小は池田美香みか主将を中心に、中山・花房はなぐさ両アタッカーの切れのあるスパイクなどで懸命に追撃しましたが、要所でオーバーネットを取られるなどリズムに乗り切れず、昨年に続いて最後に苦杯を嘗なめました。

◆八幡屋小・市岡小3位

波除小は三連覇。平成元々八年度に未到の八連覇を達成して黄金時代を築いたOBらのねぎらいを受けていました。優勝二十回は大会史上断トツの一位。OB二世（娘さん）も活躍するなど、伝統の力を生かした貫録かんろくの優勝でした。

準優勝の築港小は、勝てば四十一年ぶり二回目の優勝で、やはりOBや学校関

係者が声を張り上げて応援しましたが、
 までも一步届きませんでした。

三位は八幡屋小と市岡小。他チーム（築
 港中、池島小、港中、港南中、市岡中、
 市岡東中、港晴小、三先小、南市岡小、



→ 3連覇を果たして笑顔が弾ける波

除小学校PTAチーム（後列右端

は久保敬・波除小教頭、同左端は

山本慎一・港区PTA協議会会長）

弁天小、田中小、磯路小）も練習の成果
 を発揮して健闘。敗れた後も夕方まで、

様々な役割を担って運営に協力しました。

◆高水準の大会だった

閉会式では阪上眞奈美・港区PTA協

議会副会長（築港中P会長）の司会で表

彰などが行われ、宮本隆司・同副会長（池

島小P会長）が「レベルの高い白熱の大

会だった」と講評を述べました。

なお、この大会は大阪市PTA協議会

主催の市大会（来年二月）予選を兼ね、

優勝チームはまず西ブロック大会（十二

月）突破を目指すことになります。

◆4連覇へレシーフ強化

優勝した波除小P（久保敬監督たかし 同校

教頭）は同校で毎土曜、各三時間の練習

を重ねてきました。久保田主将は「三連

覇を目標に出場し、その通りになって、

とても嬉しいです。個人的には、昨年欠

場したにも関わらず、復帰してまた優勝

できたのが嬉しい。築港小との決勝戦が
 一番苦しかったですが、優勝できたのは
 サーブ、レシーブが最後まで安定してい
 たから。第一セットを取られても『何と



→ 連続準優勝に爽やかな笑顔の築港

小学校PTAチーム（後列右端の

2人は左から阪上眞奈美・区P協

副会長、宮本隆司・区P協副会長）

かなるやろ』と焦り^{あせ}はありませんでした。
(来年に向けては) 何といっても基本は
レシーブ力ですから、これを更に強化し
たいと思っています」と話していました。

◆雪辱へ集中力を強化

準優勝だった築港小P(藤本礼子^{れいこ}監督)
は同校で週二回、各二時間の練習を重ね
てきました。池田主将は、「優勝を目標に
出場したので悔しい気持ちもありますが、
準優勝はとても嬉しいです。皆のサーブ
がよく通ったこと、ブロックもよく決ま
ったことが最後まで進めた要因ですが、
決勝ではオーバーネットなどのミスでリ
ズムに乗れなかったのが反省材料です。
(来年に向けては) 精神的には一球一球
への集中力を養ってミスの連鎖を防ぐこ
と、技術的には弱点であるサーブカット
を強化することが課題です」と話してい
ました。

なお、この大会には港区バレーボール

連盟(萩野久美子^{はぎのくみこ}会長)が審判団として
協力。また大阪府柔道整復師会港支部か
ら八木接骨院(港晴)の八木院長、ごう
整骨院(市岡)の桂院長が常駐し、捻挫^{ねんざ}
などを訴える十数人に応急救置を施し
ました。

スポーツ短信

■大阪港カッターレースで港区チーム健

闘 大阪の夏の風物詩^{ふうぶつし}となった「大阪港
カッターレース」(「大阪港みなとまつり」
「大阪港ボート天国2012」の一環。
実行委主催。二十三回目)が七月十五日
に天保山岸壁前面海域で開催され、五十
八チーム(男子四十三、女子十五)が参
加、うち港区からは十七チーム(男子十
三、女子四)が出場。梅雨明けの強烈な
日差しの下、波しぶきをあげながら力一
杯オールを漕いだ^こ写真(手前からチー
ムいげた、たねレディース、日通シエロ



ニモハニー)。港区チーム男子ではドラゴ
ンファイターズ(㈱辰巳商会)が三位、
山九ホエールズ(山九㈱)が大阪市港湾
局長特別賞、MAGUCHI CUTTE
R CLUB(㈱間口)とSUPER A
T SUSHI(洪沢倉庫)が事務局特別
賞に、港区女子ではSKマリーニンスタ
ーズ(財新日本検定協会)が大阪市港湾
局長特別賞とブービー賞、たねレディ
ース(老健施設てんぼーざん)がベストコ

スチューム賞にそれぞれ輝いた。他に、

港区男子ではドラゴンスピリッツ（株辰巳商会）、ドラゴンルーキーズ（同）、WILD ARMS（大阪市港湾局）、SKマリンスターズ（財新日本検定協会）、オールウェイズフジワラ（藤原運輸株）、日通ジェロニモ（日本通運株）、山九ドルフィン（山九株）、近畿レインボー（近畿港運株）、住友倉庫選抜メンバー（株住友倉庫）、港区女子では日通ジェロニモハニー（日本通運株）、チームいげた（株住友倉庫）も健闘した。

■市キックベース大会で田中チーム健闘

第三十九回大阪市各区子ども会対抗親善キックベースボール大会が七月八日、大阪城公園野球場で開催され、港区代表の田中子ども会（天王寺区）と対戦。熱戦の末、三対七で敗れた。

■少年野球MINATO連合（港ヤンキ

ース、福岡ヤンチャーズ、市岡アトミックス、港侍ジャイアンツ、弁天ホワイトボーイズ、北恩加島少年野球部の軟式六チーム）主催の第十三回大阪市長杯・第十四回MINATO杯大会は灼熱の太陽の下、区内外のグラウンドで順調に進行。三十二強も出始める。審判団も奮闘。同連合各チームは他大会でも奮闘。五七六・七一九一駿河。

■港区小学生バレーボール教室「大阪み

なと」は春から七名も部員が増え、秋からの数々の大会に向け、一層の技術向上めざして練習中。九月は一日、十五日、二十九日（土）に池島小で、二日、十六日（日）に南市岡小で、八日、二十二日（土）に三先小で九時から練習。見学・体験歓迎。三年生以上。〇七〇・五六五九・四八三一萬井。

■大阪・港ボーイズ（少年硬式野球）中

学部は京都市・和歌山の二大会を

残すのみ。「悔いのない大会に！」と暑さに負けず猛練習。硬式に興味ある小中学生の体験練習・入部説明随時。〇六五七一・六七五三スポーツさんわ又は〇九〇・九六一〇・一一七七森。

■弁天出身の天ノ若（愛知県体育館）で四勝三敗。序二段・

西八七枚目、玉ノ井部屋。本名天野清智、三十三歳。平成七年夏場所入門。



スポーツ

中学バドで港南準V

230選手が爽やかプレー

「第四回中学生バドミントン大会」が
七月八日、港スポーツセンターで開催さ



→ 熱戦を繰り広げる中学生選手ら
七月八日、港スポーツセンターで

れ、地元の港南中など市内十五校から参加した三十三チーム・二百三十選手が爽やかなプレーを繰り広げました。港スポーツセンター利用団体交流会・バドミントン大会実行委員会（岡野三津茂代表）が主催。港区バドミントン連盟などが後援。

●3年は東住吉が優勝

試合は団体戦で、三年の部と一・二年の部に分かれて行なわれました。

このうち三年の部には東住吉、港南、鶴見、今宮、大淀、東三国、城東、南港、春日出、大領、宮原、歌島、長吉、大桐、大正西の十五校から二十チーム・一三二選手が出場。五ゾーンに分かれての各総当たり予選リーグ戦↓決勝トーナメント戦の結果、東住吉Aチームが港南Aチーム（寺井彩華、植野綾香、柴田弘美、奥田千冬、川本莉子の五選手）との決勝戦を二対一で制して優勝を飾りました。

準優勝の港南は三連覇ならずも安定感をアピール。選手たちは「春の中学総体で敗れた東住吉に雪辱を果たせなかったのは残念ですが、準優勝は嬉しいですよ」と話していました。

●1・2年は城東がV

一方、一・二年の部には大正西、春日出、港南、南港南、東住吉、宮原、長吉、



→ 中学生バドミントン大会3年生の部で準優勝に輝いた港南中チーム

大領、今宮、城東の十校から十三チーム・九八選手が出場。三ゾーンに分かれての各総当たり予選リーグ戦↓決勝トーナメント戦の結果、城東Aチームが大領Bチームとの決勝戦を制して優勝。港南中チーム（木下摩耶、坂井田玲奈、上田佳歩、木島華、中村藍梨の五選手）は予選リーグで三勝一敗と好成績でしたが二位に留まり、決勝トーナメントへ進めませんでした。

熱戦と共に、大会終了後には参加者全員で会場を清掃するなど、教育の視点を欠かさない運営ぶりが印象的でした。

文化・芸術

豪華客船を激写

弁天の船戸さん

海の写真コン入選

海への関心を高めるため毎年実施されている「海の写真コンクール」（近畿海事広報協会主催）で港区のアマチュアカメラマン二人が入選しました。このうち古住和彦さんは「サンプリセス入港」で大阪市長賞（特選）に、船戸章さん（弁天3）は「微速前進」で近畿海事広報協会会長賞（入選）に輝きました。

七月十六日には中央区で表彰式が行われ、近畿運輸局長賞、大阪府知事賞、大阪市長賞など十一賞・四十一人のうち上位十人が表彰されました。

◆一瞬の晴れ間ねらい

このうち船戸さんの「微速前進」Ⅱ写



真Ⅱは、今年三月三十日朝八時過ぎ、天保山岸壁に入港する豪華客船「シープリセンス」（七七四九九ト）の巨大で優雅な姿を捉えたもの。バミューダ船籍で、オ

→豪華客船の優雅な姿を活写して見事「近畿海事広報協会会長賞（入選）」に輝いた船戸章さんの「微速前進」

ーストラリアのシドニーから日本、中国などを周遊するクルーズの途中でした。

空の水色と船体の純白の対比が鮮やかで、その空に浮かんだ高層雲の流れに導かれるように、超鋭角の船首が天保山の空気を裂きながら悠々と前進してくる様子が伝わってきます。この日は曇りがちの天候でしたが、船戸さんは「一瞬の晴れ間を狙って」シャッターを切りました。

◆中学時代から撮影

船戸さんは昭和十二年生まれの七十五歳。中学時代にカメラに惹かれ、自己流で撮影を続けてきましたが、サラリーマンを定年退職した頃から色々なコンクールに出品するようになったそうです。

この「海の写真コンクール」には十年ほど前から応募を続け、今回を含め三回入選、うち一回は大阪市長賞(特選)でした。

また平成十六年には「大阪北港ヨットハーバーカメラ部門」で敢闘賞を獲得、同

← 3回めの入選を喜ぶ船戸章さん



二十一年には「大阪港クルーズ客船フォートコンテスト」で佳作に入りました。

家族からは「写真になってへん」と厳しい評価を受けているそうですが、「これからも、各コンクールのテーマに沿った作品を手掛けながら技術を磨いていきたい」と意欲を燃やしています。

◆9月23日まで展示

なお、同コンクールは今年で三十四回目。百八十人から六百二点の応募がありました。入選作品は「なにわの海の時空館」(地下鉄コスモスクエア駅①出口)で九月二十三日まで展示されています。

芸能ニ情報

●三先出身の歌手・香西かおりさん デ

ビュー二十五周年記念シングル第二弾『酒のやど』『糸車、からり』(TV大阪『逃亡者おりん2』主題歌)『愛し、恋し』のがれもの好評▽八月二十一日(火) 十八時半から大阪新阪急ホテルで「サマーディナーショー」(二万五千元)▽八月二十三日(木)、三十日(木) 二十一時四十分ラジオ関西「桂木龍の演歌はやるんです!」に電話ゲスト出演予定▽九月二日(日) 十九時半NHK・BS「BSにつぼんの歌」出



→ 香西かおりさん

演予定▽かおり倶楽部は夕風一・一一・
一八。

●波除在住の演歌歌手・藤かほりさん

八月十六(木)、十七日(金)にオーク広
場で開催の「オーク盆踊り」に出演予定
▽九月一日(土) 十八時から波除グラ
ンドで開催の「さくら夏まつり」に出演予定
▽九月三十日(日) 十三時から「目の不
自由な人に盲導犬を」と港区民センタ
ーで毎年恒例の「盲導犬チャリティショー」
(十八回目) 開催予定。ゲストは暁照
夫・光夫(8面に読者プレゼント)▽『男



→藤かほりさん

の夢十二代』『人生荒野』好評。共に歌謡
界の大御所・安藤実親作曲。インターネ
ットで購入可。有線リクエストは「男の
夢十二代」で▽〇六五八二・一二四一藤
企画。

●八幡屋在住の演歌歌手・杉俊一さん

八月四日に八幡屋公園多目的広場で開催
の「港区民まつり」に出演し、『都城の女』
などを熱唱した▽九月三十日(日) 十三
時から港区民センターで開催の「盲導犬
チャリティショー」にゲスト出演予定▽
昭和五十二年『リッツ・流れ花』レコー



→杉俊一さん

ディング、五十五年『長崎夢模様』でデ
ビュー。『都城の女』『元禄男華』『夢多町
の夜』などオリジナル曲多数。作詞・作
曲も。八幡屋小、港中出身。▽〇六五七
一・三九三三SUNプロダクション。

●磯路在住の歌手・松浦ゆみさん

八月十六日(木)、十七日(金) 十八時半から
弁天町オーク広場で開催の「オーク20
0盆踊り大会」にゲスト出演予定▽八月
十九日(日) 正午半から吹田メイシアタ
ーレセプションホールで開催の「竹若教
室カラオケ発表会」にゲスト出演予定▽



→松浦ゆみさん

八月二十八日（火）十八時から新大阪ワシントンホテルで開催の「演歌応援の会 デイナーショー」にゲスト出演予定▽九月八日（土）十九時から平野区のカラオケ「ネネ」でライブ予定▽九月九日（日）

に開催の奥野正美市議員「サンセットパーティー」にゲスト出演予定▽昨春発売の『涙のラブ・バラード』『みなと唄』『平戸ブルース』『平戸…哀しみを抱いた街』好評。ヒット曲『もう一度』は桂三枝（現文枝）入魂の作詞による人生応援歌。

●港南中学校出身の歌手・川奈ルミさん



→ 川奈ルミさん

八月二十五日（土）に寝屋川市の治水緑地公園で開催の「第三十五回寝屋川祭り」に十八時頃大ステージ出演予定▽『愛につながれて』『今をとめないで』好評。歌手活動十周年アルバム『愛の詩』は「コーヒールンバ」「元町ブルース」などラテン&ブルース十曲をオリジナルアレンジで▽㊗三・五三九七・六七六七（榊朝月）●弁天在住の歌手・青木美香子さん 八月二日に大丸心斎橋劇場で「サマーコンサート」を開催、好評を博した▽毎週水曜二十三日ジェイコム11チャンネルで



→ 青木美香子さん

「ミカリンの大坂歌絵巻」放送▽八月十五日（水）正午と十四時五十分「通天閣歌謡劇場」（千五百円、入替なし）出演予定▽八月十九日（日）十五時特養ホーム「きずり逢花苑」でミニコンサート▽八月二十七日（月）中央区で開催の「和楽の会」出演▽十月十日新曲「愛月くマナヅキ」発売。予約販売開始（全国のCDショップ、TSUTAYA、アマゾン他）▽㊗六五七六・六六五三オフィスMIKARIN。

文化短信

●風庵「近江の麻」展が好評 人類最古

の繊維で、丈夫で吸水・発散性に優れていることから「夏の繊維」とも呼ばれる麻。そのうち琵琶湖の風土をいかした近江（滋賀県）の麻で作った作品を一堂に展示した「近江の麻」展が繁栄商店街のギャラリー&カフェ「風庵」（南市岡三・二・一〇）で六月一日から開催され、好



評を博している**Ⅱ写真上**。タオル、バツ

グ、コースター、**団扇Ⅱ写真下**、絵本な

ど。他に藤井オーナー所有の明治・大正期の陶器・ガラス器や昭和感溢れる柱時

計・レコード盤・ミシンなども。自家焙煎

の珈琲はクッキー付きで三百円。開場は

十時半〜十八時。八月三十一日まで。

四九六五・五九八二

●桂あさ吉さん『はじめての英語落語』

好評 南市岡出身の落語家・桂あさ吉さ

ん**Ⅱ写真Ⅱ**の英語落語の本『はじめての

英語落語』(国際語学社から昨年五月発行)

が好評発売中。「書き割り盗人」の英語・

日本語DVD付。他に「死神」「転宅」「天神山」「辻占茶屋」「はてな茶碗」「芝浜」の英語台本と日本語訳も収録。ネイティブ音声も収録されているので英語学習に最適。桂三枝(現文枝)さんが推薦。税込一千五百七十五円。



●「ゆらちゃんのおはかまいり」好評

「お墓参りを通して日本人の健全な心を養って頂きたい」とゆらちゃんのはば(田

中在住の四十代男性)が昨秋出版した絵

本「ゆらちゃんのおはかまいり」**Ⅱ写真**

Ⅱが本紙読者プレゼントなどで読まれ、

「お墓参りの基本的な知識がやさしい文

章で分かりやすく描かれていて、大人に

も勉強になった」「イラストがとても可愛



く、子どもに読み聞かせしやすかった」などと好評を博している。内容は、①お供物の意味②家族の共同作業としてのお墓参り③お花・お香・水の意味④掃除の意義⑤お墓の前での願い⑥感謝の心⑦心の浄化としてのお墓参りなど。宗教学者・駒沢大学名誉教授の佐々木宏幹さんが推薦文。B5判三二頁。定価八百円十税。問い合わせはTEL・FAX〇七二五・四五・九〇六四和泉石材の北條さんまで。

港町の爽やかさ描く

築港中の谷崎さん

中学生海の絵画コンで入賞

海への関心を高めるため毎年実施されている「中学生海の絵画コンクール」（近畿海事広報協会主催）で築港中学校三年生の谷崎羽香さんが入賞しました。

◆40人が入選、表彰

七月十六日には中央区で表彰式が行われ、金賞一人、銀賞三人、銅賞六人、佳作三十人―の計四十人のうち上位十人が表彰されました。このうち谷崎さんは港大橋が見える護岸風景を描いた水彩画Ⅱ写真Ⅱを出品し、佳作に選ばれました。

◆見慣れた風景残そうと

この作品は今年五月の放課後（午後三時ごろ）、美術部の活動の中で、同校に近

い「海岸通ギャラリーCASO」南側の広場から大阪湾方面へ続く護岸風景を描いたもの。水面の青、欄干の緑、港大橋の赤の三色のコントラストが鮮やかで、風に乗って流れてくる潮の匂いや春の爽



→港大橋が見える護岸風景を描き、「中学生海の絵画コンクール」で入賞した谷崎羽香さんの水彩画

やかな空気、港湾の活気などが感じ取れる、中学生らしい健康的な雰囲気の特徴です。谷崎さんは「日ごろ見慣れ、親しんできた風景を絵にしたい」とこの場所を題材に選んだそうで、まず写真に撮り、それを元に美術室で一週間、計六時間ほどかけて仕上げました。「欄干を描くのが難しく、遠近感を出すのにも苦労した」そうです。

◆人物画にも挑戦したい

谷崎さんは、小さい頃から特に絵が好きということはありませんでしたが、中学一年で美術部に入ってからその面白さが分かるようになり、特に「キャンバスに絵の具をぺたぺたと塗る快感にハマっている」とか。このコンクールには美術部の他の部員十人と共に初めて応募。入賞の知らせに「まさか」と耳を疑りましたが、家族や友だちや先生から「すごいね」「よかったね」と祝福を受けるうち、

実感が湧いてきたそうです。今のところ、「人物画は難しい」ということで、好きな風景画を水彩で描くことが多いようですが、「高校に入っても美術部で絵を続け、その中で人物画や油絵にも挑戦していきたい」と意欲を燃やしています。

美術部顧問の安永佳世^{やすなが かよ}教諭は「谷崎さんは美術室で何日もかけて一生懸命描いていました。このコンクールには美術部として初めて応募して入賞し、とても嬉しいです。本人はもちろん、一・二年生への励みにもなります」と話していました。

◆9月23日まで展示

なお、同コンクールは今年で四十九回目。四十四校から三二三点の応募がありました。入賞作品は「なにわの海の時空館^{じくう}」(地下鉄コスモスクエア駅①出口)で九月二十三日まで展示されています。

演劇ガイド

●あながいおまる一座・ミュージカル『銀の幕―街に映画がやってきた』

明治三十年、映画が日本・大阪に入ってきた時の驚きや騒動を、同一座の座付き作家であつた故綾羽^{あやはかすき}一紀さんの原作・脚本・作詞、岩城利之さんのユニークな作曲、あながいおまるさんの演出で楽しむ。九月

十六日(日) 十五時、十七日(月祝) 十一時、十四時半の三回公演。会場は「世界館」(波除六・五・一五、JR弁天町駅から国道四三号を北へ直進、安治川堤防突き当たり右手前角^{かど})。前売三千二百円、当日三千五百円(学生・子供はいずれも千六百円)。問い合わせ・申し込みは六五八一・〇六六四石炭倉庫へ。

●「弁天喜劇・こどもお笑い塾」舞台発表

表 「弁天喜劇・笑天下^{わろてんか}」(7月号21、

22頁で紹介) 講師で放送作家の砂川一

茂さんが「人を笑わせ、自分も元気に！」

ライブ情報

「喜劇はチームワークとコミュニケーション！」と小・中学生ら二十人を楽しく集中的にお笑い特訓した成果を発表。八月二十六日(日) 十五時、弁天町市民学習センターで。観劇無料(申込不要)。六五七七・一四三〇同センター。

●八幡屋出身のロックドラマー桐田勝治^{きりたかつじ}さん

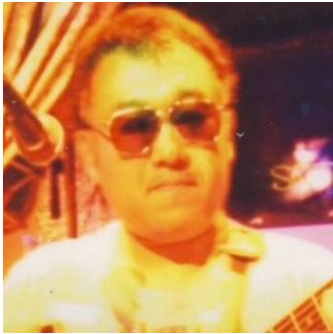
所属バンド「ガーゴイル」のアルバム『鬼書^{きしよ}』好評(六〇三・三三八二・九一八〇ファーストセル)▽九月十七日



→ 桐田勝治さん

(月祝) 十八時から江坂ミューズ(八六三八七・〇二〇三)で、十八日(火) 十八時半から神戸ヴァリット(〇七八・三九二・六六五五)で、所属バンド「ガール」のライブ「黒帯ロッカーズ2012」(どちらも前売三千円、当日三千五百円)に出演予定。

●三先のフォーク歌手ペドロさん 切断ブラザーズ(左手親指切断の共通体験を持つ三人で二〇〇六年結成)のリーダーやソロで温かな雰囲気オリジナルフォークソング▽八月二十六日(日) 正午



↑ペドロさん

十六時ごろ地下鉄緑橋駅周辺で開催の町家ライブに「ペドロ&かずみ」として

出演予定▽九月九日(日) 正午〜二十時
時ロージ(中央区西心斎橋二・九・五日宝三ツ寺会館地下一階、八六二二・三・三九九九)で開催の「ロージまつり」

出演予定▽毎月第一・三木曜各二十時
ザ・セラ(中央区西心斎橋二・一七・

一三新スミヤビル地下、八六二二・六四三七)▽毎月第三火曜二十時かつおの

遊び場(中央区宗右衛門町四・五宗右衛門町センタービル二階、八〇九〇・五八

八二・七〇一五)▽毎月第二火曜二十時半ロージ(中央区西心斎橋二・九・五

日宝三ツ寺会館地下一階、八六二二・三・三九九九)。

●三先在住のフォーク歌手・かずみさん

昼も夜も働く頑張りママさんシンガー▽八月二十六日(日) 正午から地下鉄緑橋駅すぐの民家で開催の「町家ライブ」に



←かずみさん

「ペドロ&かずみ」として出演予定(伴奏はペドロさん)。

代筆

～何でも書きます、まとめます～

- ★手紙・案内・報告・宣伝・司会などの文案
- ★自分史・社史・団体史などの聞き書き
- ★新聞・広報・書籍・会報などの取材・編集

港新聞・飯田編集事務所

TEL・FAX:06-6571-4636

Eメール:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/

突撃インタビュー

みなと区



そろばん復権の“仕掛け人”

——森友 建さん（夕風） ㊦

そろばん復権の“仕掛け人”もりともけん 森友建さんを夕風の「森友総合教室」に訪ねていきます。前号までに、生い立ちから塾経営一本化を経てそろばんの国際化や学校教育への導入の取り組みなどを語ってもらいましたが、さて最終回は――。

情緒安定、意欲が向上

そろばんで“子供力”回復を

◆ここで、読者が一番訊きたいと思われるそろばんの効果またメリットについて分かり易く教えて下さい

承知しました。特に脳との関係でそろ

ばんは著しい効果が実証されています。いちじる

例えば東北大の川島隆太教授りゅうたが平成二十年から一年間の実験で明らかにしたところによると、そろばんの見取り算や暗算をしている時には脳の前頭前野ぜんとうぜんやにたくさん血が流れる、つまり左右両脳がバランスよく使われて前頭前野の働きが



→「思考力・創造力・学習意欲など“子供力”の回復に貢献したい」

とそろばん教育に情熱を注ぐ森友建さんⅡ夕風の「森友総合教室」で

活発になり、発達していくことが、MRIによる測定で判明しました。これは、

目や指を動かすことで、珠たまの形で計算のプロセスが見え（電卓は見えない）、数感覚が鋭敏になり、上位から計算することで概算ができ（筆算は下位から）、十進法の仕組みが判り、アルゴリズム（論理）

が見え、間違いの原因や過程が発見でき、結果として計算力・計算センス・暗算力が向上するというメカニズムです。加えて、情緒が安定し、学習など物事に取り組む意欲や姿勢が向上き、さらには判断力や創造力、持久力や耐力、規律性の向上にもつながる、ということも証明されています。特に情緒の安定と学習意欲の向上は子供にとって極めて重要なメリットだと考えます。

◆素晴らしい効用とくはたに鳥肌が立つと共に、日本人として誇らしく思います。それに関連して、競争主義・個人主義・効率主

義など現代の風潮とそろばんの関係という点ではどう見ておられますか

勝てばよい、結果さえ良ければよい、自分さえ良ければよい、速ければよい、楽であればよい—という事で、結局はアイパッドなど機械の力やコンビニなどが、便利な物に頼るのが現代の風潮ですが、この傾向のままに流れると、せっかく神から与えられた人間そのものの力(体力、思考力など)が発揮されないまま退化してしまいます。「これで良いのか—」という問いを今発しないと取り返しつかないことになるでしょう。そんな、いわば危機的状況を打開するために、そろばんを単に教育の一部としてではなく、江戸時代の寺子屋てらこやのように、その根幹に位置付けるくらいの抜本的な教育改革が必要だと考えます。

◆同感です。最後に、そんなそろばん教育の実践として長年経営してこられた

「森友綜合教室」について、想いを訊かせて下さい

五十四年間の中で、そろばん、書道、ピアノ、学習、英語と間口まぐちを広げたこともありましたが、今はそろばんと書道に集中しています。その中で全体的に言えることは、最初はお母さんが「落ち着きのない子なんです」と心配されている子も、二〜三週間たつと必ず集中力や意欲が高まり、安定してくるということです。この点では子供の柔軟性・適応力にほとほと感心すると共に、集団の持つ力というか雰囲気には、自分で自分を変えさせる何か—これを私は「サムシング・スペシャル」と呼んでいます—があるのだと確信させられます。かつての松下村塾しよなかそんじゆくや適塾てきじゆくにもそうした空気があったからこそ、特に手取り足とり教えなくても、あれだけの人材を輩出はいしゆつできたのではないのでしょうか。ここに、今の学校教育を補

う町教育機関としての塾の機能があり、存在価値があるように思います。

◆納得です。これからもそろばんの指導・普及を通じて日本の教育発展のために尽くされることを期待します

× × × × ×

もりとも・けん 昭和十二年港区生まれ。小学四年から珠算を習う。北野高、甲南大卒。同三十二年「森友綜合教室」開塾。日本珠算連盟理事長などを経て現在(社)大阪珠算協会会長・近畿珠算強化連合会代表。ブログ「世界に広がるそろばん文化」。

森友綜合教室 夕風二・一三・七、TEL・FAX六五七二・六八七七。

戦争体験

平和のため



語り継ごう

今月の語り部

おかざき かずこ

岡崎 和子さん

81歳（夕風在住） ㊤



今月は、昭和二十（一九四五）年六月の空襲で母や幼い弟妹を失いながらも生

き抜き、戦後は女性会活動などで地域発展に力を尽くしてこられた岡崎和子さん（八一）（夕風）に、その体験を語って頂きました。

強制疎開で生家喪失

父は6月空襲を生き延びる

私は昭和六（一九三一）年五月、大阪市港区田中元町三丁目（現在は安治川の水面^{もとまち}）に生まれました。五人兄弟姉妹の第一子（長女）でした。父・深田治市^{ふかだしいち}は安治川のそばの石田町（現在は安治川の水面^{いしだちよう}）で石炭を出荷する仕事をしながら、青年団の団長として、地域活動にも熱心に関わっていました。その頃、子供の私にはよく分かりませんでした。私が生まれた年に始まった中国との戦争は長引き、戦時色は日に日に強まっていたようでした。

◆尋常小が国民学校に

私は錦尋常小学校^{にしきじんしょう}に入りましたが、体が弱かったため、夏の長い朝礼に耐えられずによく貧血で倒れ、公務員のおじさんに自転車で家まで送り届けてもらったことを覚えています。

四年生だった昭和十六（一九四一）年十二月、日本はアメリカやイギリスとの間でも戦争を始め、尋常小学校は「国民学校」と名を改められました。

◆強制疎開で豊能郡へ

戦況が厳しくなった昭和十八（一九四三）年ごろには空襲の恐れも出てきたことから「疎開^{そかい}」が噂^{うわさ}されるようになり、私たち一家も昭和十九（一九四四）年十二月、「強制疎開」（空襲での延焼を防ぐ目的で強制的に間引き^{まび}、つまり家を潰^{つぶ}され、引越^{ひっこ}しさせられる）となり、豊能郡（現在の豊中市）小曾根村^{おぞね}に家を買って移りました。生家^{せい家}が潰されたのは引越

しの後^{あと}だったので、その光景は見ていませんが、もし見ていたら辛^{つら}かっただろうと思います。



→港区での強制疎開（建物疎開）の様子（昭和19年）。当初は承諾書を取るなど1カ月ほどの余裕があったが、昭和20年3月大空襲後は手続き抜きで行われたという

それは私が六年生の冬休みのことで、三学期は引越^{おそね}し先の小曾根村から錦国民学校へ通いました。

◆焼夷弾に「きれいや」

昭和二十（一九四五）年三月十三日深夜、大阪はかつてない大きな空襲に見舞われました。港区の東半分も大きな被害を受けましたが、生家のあった田中元町^{もとむち}や父の職場である石田町に被害はありませんでした。しかし、六月一日の白昼の大空襲では、父の職場を含む港区の西半分が壊滅しました。

当時、私は豊中市の香梅女学校^{こうばい}一年生でしたが、なぜかその日は学校に出ていなかった^でので、その空襲の様子を豊能郡の家から見ました。昼間でしたが、B29から落とされた焼夷弾^{しょういだん}が空中でパアツと線香花火^{せんこう}のように開き、それが地上に落ちるやボツと火の手が上がるのが分かりました。怖さ^{こわ}を忘れて「きれいや」と

感じたものでした。が、その一方で、職場の父がどうなっているのか、心配でたまりませんでした。幸い、父は夜遅く（十一時頃）に帰って来ましたが、「石炭船^{ぶね}で安治川を渡り、歩いて戻って来たんや」と疲れた様子で話していたのを覚えています。

◆「胸騒ぎする」と父

そうして皆で父の無事を喜び合ったのも束の間^{つか}、一週間後の同月七日には疎開先の豊能郡が空襲を受けました。

その朝、父は「胸騒ぎがする」「今日は（空襲が）まともに来そうや」と言い、私が女学校へ行くのを止めました。小学生の妹二人（四年生の治子^{はるこ}と一年生の幸子^{ゆきこ}）は「警戒警報」を受けて、小曾根北国民学校にカバンなどを置いたまま帰宅してきました。

裏庭には、大工さんに造ってもらった六畳ほどの広さの頑丈^{がんじょう}な防空壕^{ぼうくわう}があり、

父は、乳飲^{ちの}み子の末妹^{まつまい}・千代子^{ちよこ}を抱えた母^{あきよ}・秋代^{あきよ}、小学生の妹二人、それに、まだ幼い弟^{はるひろ}・治弘^{はるひろ}をそこへ退避させました。そして長女の私に、食料などを壕へ運び入れるよう命じました。

正午少し前、防空頭巾^{ずきん}をかぶり、父の指示で家の中から食料を運び出そうとした時でした。私は物凄い衝撃^{ものすごい}で吹き飛ばされたのです。

(つづく)

次世代に戦争体験を伝えよう!

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

理不尽な制裁に自殺も考えた初年兵時代。敵兵処刑や毒ガス使用に疑問も感じなかった戦場の日々。人が人でなくなる戦争の恐ろしさを子や孫に残しておきたいと書きためた文章を整理・加筆して頂き、立派な冊子にすることが出来ました。感謝しています。(90代男性)

400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

★文書全般の代筆も承ります★

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

ミニミニ案内

●交通科学博物館 ①交通科学博物館五

十周年記念夏休み企画「鉄道模型とのものおもちゃ大博覧会」 〓九月二日まで

開催中。「鉄道ジオラマ大集合」「鉄道模

型大集合」のりものおもちゃ大集合「鉄道道おもちゃプレイランド」の各コーナー

②「ブルートレインいまむかし」 〓一九

五〇年代にデビューして一世を風靡^{いっせい}し、

今も活躍するブルートレインの歴史を、

ヘッドマークや車両模型、車内設備の展

示などで振り返る。九月九日まで第六室

で開催中③「モデルシブ友の会作品展」

〓紙類だけで制作した緻密^{ちみつ}な船のペーパ

ークラフトの作品を一堂に。二〇〇分の

一サイズの南極観測船や消防艇、客船、

貨物船など約二十点。八月二十五日まで

開催中④京都市鉄道研究会写真展「鉄

道のある風景」 〓中央アルプスや山口県

の山間といった風光明媚^{ふうこうめいび}な景色の中を鉄



道が走る絵画的な作品や、在りし日の片町線を走る鉄道を撮影した作品 〓写真は

榎本清和氏「青葉の頃」(片町線長尾―大

住間) 〓など五十六点(うち絵画三点)

を展示。九月八日(二十三日)〓十七

時入館、月曜休館(祝日なら開館)翌火

曜休、火曜も祝日なら振替休なし、春夏

休みは開館)。高校生以上四百円、四歳

中学生百円。JR弁天町駅すぐ。 ☎六五

八一・五七七一。

●関西フィルハーモニー管弦楽団「第2

41回定期演奏会」

指揮、ヴァイオリ

ン独奏、その両方を同時に行なう弾き振^{ひふ}りーの三役を自在に使い分ける、関西フ

イル音楽監督オーギュスタン・デュメイ

Ⅱ写真(©T・DAGUZAN)Ⅱが

メンデルスゾーン、もうひとつの顔”を

テーマに贈る。演奏曲目は①ドヴォルザ

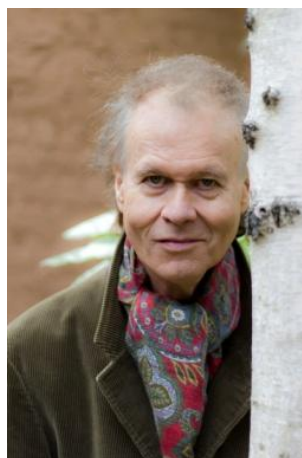
ーク・ロマンスへ短調作品11(「デイヴ

イド・ワルター編曲・ヴァイオリンと

弦楽オーケストラのためのロマンス)②

メンデルスゾーン・ヴァイオリン協奏曲

ニ短調遺作(1822年)(ヴァイオリ



ン・A・デュメイ&弦楽オーケストラ)

③ビゼー…交響曲第1番ハ長調。九月七

日(金)十九時からザ・シンフォニーホ

ール(JR環状線「福島駅」から北へ歩

約七分)で。S席五千元、A席四千元、

B席三千元、学生席千円。☎六五七七・

一三八一。

●港図書館

①夏休み期間中のお知らせ

Ⅱ今年も八月三十一日まで月曜日も開館

(休館は十六日(木)だけ)。本との出会いや

調べ物のチャンス②高齢者図書ボランテ

ィア養成講座Ⅱ港図書館を拠点に区内の

高齢者福祉施設等で活動するグループに

参加し、図書の管理や紙芝居の実演など

をするボランティアを募集。九月四日

(火)、十月一日(月)、十六日(火)、二

十三日(火)、三十日(火)、十一月二十

一日(水)の午前十〜十二時(十月一日

のみ十四〜十五時)の全六回講座をすべ

て受講できる人。受講費無料。会場は市

立中央図書館ほか。定員十名。申込は八

月二十八日(火)までに電話か来館で③

図書展示「こどものほんだな」展Ⅱ八月

三十一日まで開催中。平成二十二年十二

月〜平成二十三年十一月に出版されたこ

どもの本の中から図書館職員おすすめを

展示(冊子配布も)▽☎六五七六・二三

四六。

●弁天町民学習センター「オーク弁天

寄席・納涼スペシャル阿波踊り」八月

十九日(日)十三〜十五時、オーク広場

で。参加無料。申込不要。お馴染み「オ

ーク弁天寄席」の真夏の特別イベント。

本場徳島の連^{れん}や笑福亭学光^{しょうくわう}さん率いる

「はなしか連」など総勢百数十人が元氣

一杯に踊る。体験教室(同日十時〜十一

時半、同センターで。参加無料。先着八

十人、申込は電話で)あり。主催はオー

ク弁天寄席の会と同センター。ORC2

00店舗会が協賛。ラジオ大阪が協力。

☎六五七七・一四三〇。

●弁天町市民学習センター「弁天町おやこふれあい夏まつり2012・おやこでどつきどき体験教室くららら♪アラカルト」

八月二十六日(日) 十時半〜十六時。入場無料(教材費は別途要)。①手作りおもちゃ②紙ひこうき飛ばそ!③バルーンで作るカブトムシ④ゆらゆらモビール⑤お花のカップケーキ⑥夏のリースづくり⑦おやこ書道エコうちわ⑧おやこ茶道体験⑨鳴るほど?!尺八⑩やって二胡⑪ヒップホップダンス⑫ボクササイズ⑬ミニミニ喜劇講座⑭押し花アート⑮

まんげきよう万華鏡づくり⑯タイルアート。十五時から夏休みOH!笑い塾「こども喜劇」発表会あり(観劇無料)。☎六五七七・一四三〇。

●ガットネロ 市岡在住の社会派シャンソン歌手・松浦由美子さん

写真主主宰の音楽喫茶。毎月様々な企画。①HAM



ORI・BE(はもりべ)のうた★カフェ||若手テノールデュオ(中川公志・小原有貴)が日本の懐かしい歌を歌う(ピアノ・古谷優子)。一飲物付二千五百円。

定員十五人、要予約。第八回は八月二十四日(金) 十五時、十九時②朗読カフェ||八月二十五日(土) 十〜十二時。一飲物付千円。テキストは田島征彦作『じごくのそうべえ』。講師は柏原圭子(朗読劇団あめんぼ)▽ガットネロは天王寺区上本町六・二・三七、地下鉄谷町九丁目駅⑪出口、☎六七六七・〇〇一一。

●港近隣センター・懐かしの名画劇場「慕情」

第二次大戦後の香港が舞台の悲恋を綴ったハン・スーインの自伝を映画化

写真是一场面。監督はヘンリー・キング。出演はジェニファア・ジョーンズ、ウィリアム・ホールデン他。一九五五年アメリカ。アカデミー賞受賞。九月十四日(金) 十四時。協力金百円▽同センターは八幡屋一・四・二〇(入舟公園隣)。問合せは☎六五七二・〇〇二〇(財大阪市コミュニティ協会港区支部協議会へ)。



●シネ・ヌーヴォー「生誕百年 木下恵介監督作品上映」

みせぐちおづやすじろう溝口健二・小津安二郎、黒澤明と並び称される日本映画界が誇る巨匠・木下恵介。庶民の視点で時代を見つめ、文芸もの、青春ものからメロドラマ

マ、喜劇まで、天才的な演出で情感豊かな作品を次々と制作。一方で映画の持つ可能性を追求し、大胆な実験も厭わなかった。その生誕百年を記念して全四十九作品を九月七日まで上映中。八月十五日以降の上映は『歓呼の町』(一九四四)『陸軍』(四四)『わが恋せし乙女』(四六)『破戒』(四八)『少年期』(五一)『二十四の瞳』(五四)『夕やけ雲』(五六)『喜びも悲しみも幾歳月』(五七)『風花』(五九)『二人で歩いた幾春秋』(六二)『死闘の伝説』(六三)『香華』(六四)『なつかしき笛や太鼓』(六七)『スリランカの愛と別れ』(七六)『新・喜びも悲しみも幾歳月』(八六)『風前の灯』(五七)『春の夢』(六〇)『今年の恋』(六二)『歌え若人達』(六三)『父』(八八)『女』(四八)『肖像』(四八)『新釈四谷怪談』(四九)『海の花火』(五一)『父よ母よ!』(八〇)『大曾根家の朝』(四六)『善魔』(五一)



『日本の悲劇』(五三)『今日もまたかくてありなん』(五九)『衝動殺人 息子よ』(七九) **写真**。当日一般千四百円。上映時間など詳細は同館(地下鉄九条⑥出口歩三分六五八二・一四一六)へ。

●**喫茶&ギャラリーハハハハハハ** 月替わりで季節感溢れる企画▽九月は「ハハハハハハなおかし展」▽オリジナル菓子・ケーキ等の写真展。クッキー販売や

中国茶講習会や中華点心でのお茶会も▽七時半〜十八時(土祝十一時〜)、水日休。海岸通一・五・二八天満屋ビル(地下鉄大阪港①出口から西へ歩五分) ☎六五七六・〇八八〇。

●**ガレリア・リバリア** 平和の願いをキヤンバスに込めて絵画人生を送ってきた川島恵美子さん(八二)(八幡屋在住)が絵画人生の集大成や今後の活動拠点、次世代への橋渡しの場として二〇一一年十一月にオープン。一階は常設展、二階はアトリエ **写真**は外観。月々金曜十一時



十六時開館。三先二・一三・二八（みなと通沿い、地下鉄朝潮橋駅すぐ）、**五〇二・四一八八**。

ひとくちPR

（1行＝税込1000円）

●代筆します 手紙・案内・報告・宣伝・司会などの文案。自分史・社史などの聞き書き。新聞・広報・書籍などの取材・編集。☎6571・4636 港新聞・飯田編集事務所。

●放課後・春夏秋冬休みは学童保育へ 入所児童募集。見学無料・体験OK。家族的雰囲気。区内に二カ所。☎6575・0335ありんこ。

読者プレゼント

※いずれもハガキに今月号の感想とプレゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。
※いずれもハガキに今月号の感想とプレ

ゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。

●交通科学博物館（ミニミニ案内）招待券を。ペア2組に。

●関西フィル「第241回定期演奏会」

（ミニミニ案内）招待券を。ペア1組に。

●シネ・ヌーヴォ「木下恵介の世界」（ミニミニ案内）招待券を。ペア2組に。

●あんがいおまる一座「銀の幕」（演劇ガйд）招待券を。ペア3組（各回1組ずつ）に。

●藤かほり「盲導犬チャリティショー」（芸能ミニ情報）招待券を。ペア5組に。

●絵本「ゆらちゃんのおはかまいり」（文化短信）を2名様に。

ストレスぬきます

気エネルギー療法

骨盤調整します

元気 出ますよ〜

顔のリンパマッサージも好評ですよ!（要予約）

平日 午前9:00〜午後12:30
午後4:00〜午後8:00
土曜日 午前9:00〜午後1:00

健康保険・交通事故お取扱い致します。

松井整骨院

港区弁天4-10-26
☎6572-1165

ココ

至善丸 43号線 港弁天

ストレスぬきます

駐車場 18,900円

★24時間入出庫可
★屋内につき安心
★敷金なしでも可
★車庫証明発行可

大好評 受付中

ミドルーフ車

車庫高さ1.85m

カービレッジ216

港区磯路2丁目1-4
＜営業＞AM8時〜PM8時
☎6577-8731

（朝潮橋方面）

中央大通り
大和薬房
みなの通り
（九条・堀川方面）